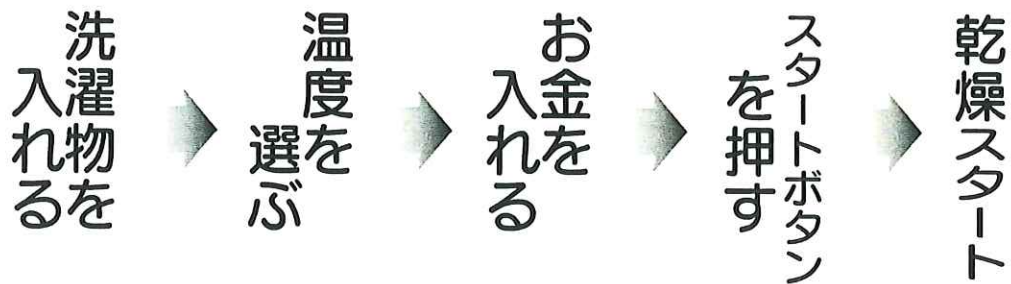


乾燥機の使い方



- 1 十分に脱水した洗濯物を広げて入れドアをしっかり閉めてください。
- 2 上下段を確認して、洗濯物にあった乾燥温度を選んでください。
高温 … トレーナー・デニム、厚手の作業着など
中温 … タオル・Tシャツなど一般衣類
低温 … ブラウス・下着など薄手のデリケートなもの
微温 … レースのカーテン
室温 … 送風 (形状記憶加工のシャツなどは、軽く送風にかけてから)
干すとシワが伸びてきれいに乾きます
※ 運転途中でも温度の変更はできます。
- 3 乾燥したい分のお金を 100 円硬貨で入れてください。
※ 100 円で 15 分乾燥できます。
- 4 スタートボタンを押すと運転を開始します。
- 5 乾燥が終了したら速やかに取り出してください。
※ 表示が 0 になると乾燥終了です。

乾燥機ドラムの3分の1程度の量が、最も
効率よく乾燥できます。

1回の乾燥容量は8kgまでです

詰め込みすぎると、十分に乾燥できません。適量で乾燥させることが効果的なポイントです。

乾燥時間の目安

- 厚手のトレーナー、ジーンズなどのデニム生地 約 50 分
- 綿シャツ、タオルなど一般的な衣類 約 40 分
- 薄手のブラウス、下着類 約 20 分

☞ 上記の乾燥時間は目安であり、素材や大きさなどにより異なります。

☞ 化学繊維（ポリエステル・アクリル等）は熱に弱いので乾燥時間は短めに、途中様子を見ながら乾燥してください。

☞ 長時間乾燥する時は、時々様子を見て冷ましながら乾燥してください。

乾燥できないもの

- 脱水していないもの → 漏電の原因になります。
- 油分のついたもの（食用油、機械油、エステ・アロマオイルなど）
→ 火災の原因になります。必ず自然乾燥してください。
- ビニール、ナイロン、ポリウレタン、ポリ塩化ビニル、ゴム、シルク の製品
- ウールが入っている製品 → 熱に弱いので縮みます。
- 「乾燥機の使用はしないでください」「タンブラー乾燥禁止」などの品質表示があるもの

おねがい

- ランドリー内は**火気厳禁**のため禁煙です。
- ご使用の前に**ポケットの中を確認**してください。
ヘアピンやペンなどが入っていると衣類を傷めます。
- 乾燥前には必ず**品質表示を確認**してください。
- 無理やり押し込むなど入れ過ぎないようにしてください。
効率が悪くなり、かえって無駄にお金がかかってしまうことになります。
- 乾燥終了後は、次のご利用者様のためにも速やかに取り出してください。
また、ドラム内に入れたままですとシワになります。
- 忘れものがないようにご注意ください。
小物（くつしたなど）がドラムに張り付いていないか確認してください。
- **セルフランドリーのため「盗難」「紛失」「品違い」「汚損」「縮み」などの責任は一切負いかねます。**
あらかじめご了承ください。